

美瑛町の教育

令和 3 年 度

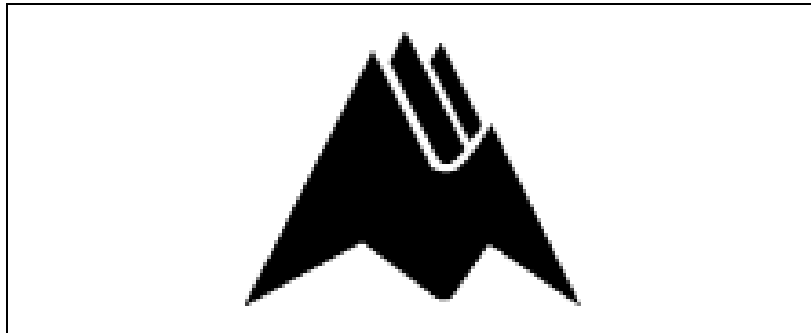
美瑛町教育委員会

美瑛町名の由来

美瑛はアイヌ語の「ピイエ」より転訛したもので、「油こい川、油ぎった川」が語源で、いずれの土地を掘っても濁水がわき出す、という意味である。

本町の開拓者は「ビエイ」となまって呼んだ。「美」は美しさを表し「瑛」は王者のごとく、そして明朗な意味を含むことから採用され、美瑛と命名された。

町花「すずらん」 町木「しらかば」



町章（昭和38年2月制定）

美瑛町の源であり、町のシンボルともいうべき存在の「十勝岳」をかたどり、あわせて町名の第一字「び」を図案化したもので、常に雄々しく伸びる町の発展性とひらがな字体で町民の親和を表したものである。

美瑛町町民憲章

わたくしたちは、美瑛町の町民であることに誇りと責任を感じ、この憲章をかかげてその実践につとめましょう。

- 1 心もからだもすこやかに、りっぱにつとめをはたしましょう。
- 1 互にむつみ話しあい、楽しい家庭をつくりましょう。
- 1 きまりを守り助けあい、明るい社会をつくりましょう。
- 1 自然を愛し文化をたかめ、豊かな郷土をつくりましょう。

町民憲章（昭和38年2月制定）

町民としての自覚と誇りをもち、あすへむかって力強く歩みを進めるために、町民の総意をこめて、格調高く平明な文で構成した。

目 次

美瑛町の概況	1
教育委員会の概況（教育委員）	2
教育委員会事務局の機構	3
令和3年度当初予算	
美瑛町一般会計の予算	4
教育費予算総括表	5
・学 校 教 育	
学校教育推進の重点	6
1. 学校概況、児童生徒数一覧	10
2. 校舎整備	12
3. 学校警備	13
4. 教具・教材の整備	14
5. 情報教育の充実	14
6. 国際理解教育及び英語教育の充実	15
7. 小・中学校教育奨励事業	15
8. 教職員の研修	17
9. 学校保健	18
10. 学校給食	19
11. スクールバス	20
12. 保育の現況	21
13. 学童保育	21
◇町立小・中学校・道立高等学校	
校長・教頭名簿	22
◇各種役員・委員名簿	23
・図 書 館 運 営	24
・社 会 教 育	
社会教育推進方針	27
◇各種委員	30
◇公民館分館長・主事・郷土学館運営協議会委員	31
◇各種団体役員等名簿	32
◇社会教育・社会体育・学校開放施設一覧	34

美瑛町の概況

位置	北緯43° 24' 55" 東経142° 19' 28"
人口	9,704人（令和3年3月31日現在）
世帯数	4,784世帯（令和3年3月31日現在）
面積	676.78 k m ²

本町は、北海道のほぼ中央、上川管内の南部、旭川市と富良野市を結ぶJR富良野線の間際に位置している。周囲は、東・上川町、東南・十勝岳を隔て新得町、西南・上富良野町、西・中富良野町及び芦別市、西北から北・旭川市、北東から東・東神楽町及び東川町と2市6町に隣接していて、総面積は東京23区の広さに匹敵する676.78 k m²を有している。

そのうち70%以上が山林、約15%が畑地であり「丘のまち」の美しい景観を形成している。

地勢は、概ね波状丘陵で畑のほとんどがここにあり、その丘陵の間をぬって美瑛川、置杵牛川、宇莫別川、辺別川ほか数条の河川が流れ、その地域が水田となっている。

地質は、東部山麓の波状丘陵地帯は残積土壌で、石英粗面岩質の土壌が多い。西部の波状丘陵地帯は湖成洪積土壌であるが、その他大部分は河成沖積土壌である。

気象は内陸的で寒暖の差が著しいが、農耕期（令和元年5月1日～9月30日まで）の積算温度は2,606℃、降水量は510mmで、農耕に適した気象条件である。

本町の植民区画設定は明治26年で、当時は神楽村の一部として旭川外三カ村戸長役場のもとにおかれていた。

明治27年9月15日、旭地区に開墾の鍬が入れられて以来、大小の農場によって開発の進展をみた。

明治33年6月1日、神楽村より分村して美瑛村（戸長役場）が、大正4年4月1日に2級村制、同12年4月1日に1級村制、昭和15年4月1日に町制が施行された。

昭和20年以降、旧陸軍用地等への緊急開拓入植によって人口、農地とも急激に増大したが、昭和35年を最高に人口の減少が続いていた。しかし、最近はこの減少傾向が止まっている。

本町は開拓以来の基幹産業である農業と白金温泉及び丘の農村景観への観光とが調和を保ちながら発展している。

また、地域振興の新たな手法としてフランスにおける先進事例をもとに、小規模な地域が企業と連携し、その地域が持つ資産を有効に活用し自立を図るべく、「日本で最も美しい村」連合の取り組みを行っている。

教育委員会の概況

教育長・教育委員



千葉 茂美 教育長

(H24.10.1 教育長就任)
(H28.10.1 新教育長就任)
(R元.10.1 教育長再任)



ニツ川 越子 職務代理

(H15.10.1 就任)
(H19.10.1 再任)
(H23.10.1 再任)
(H27.10.1 再任)
(H29.10.1 職務代理就任)
(R元.10.1 再任)



小野寺 晴紀 委員

(H24.10.1 就任)
(H26.10.1 再任)
(H30.10.1 再任)



打本 菜保子 委員

(H28.10.1 就任)
(R 2.10.1 再任)

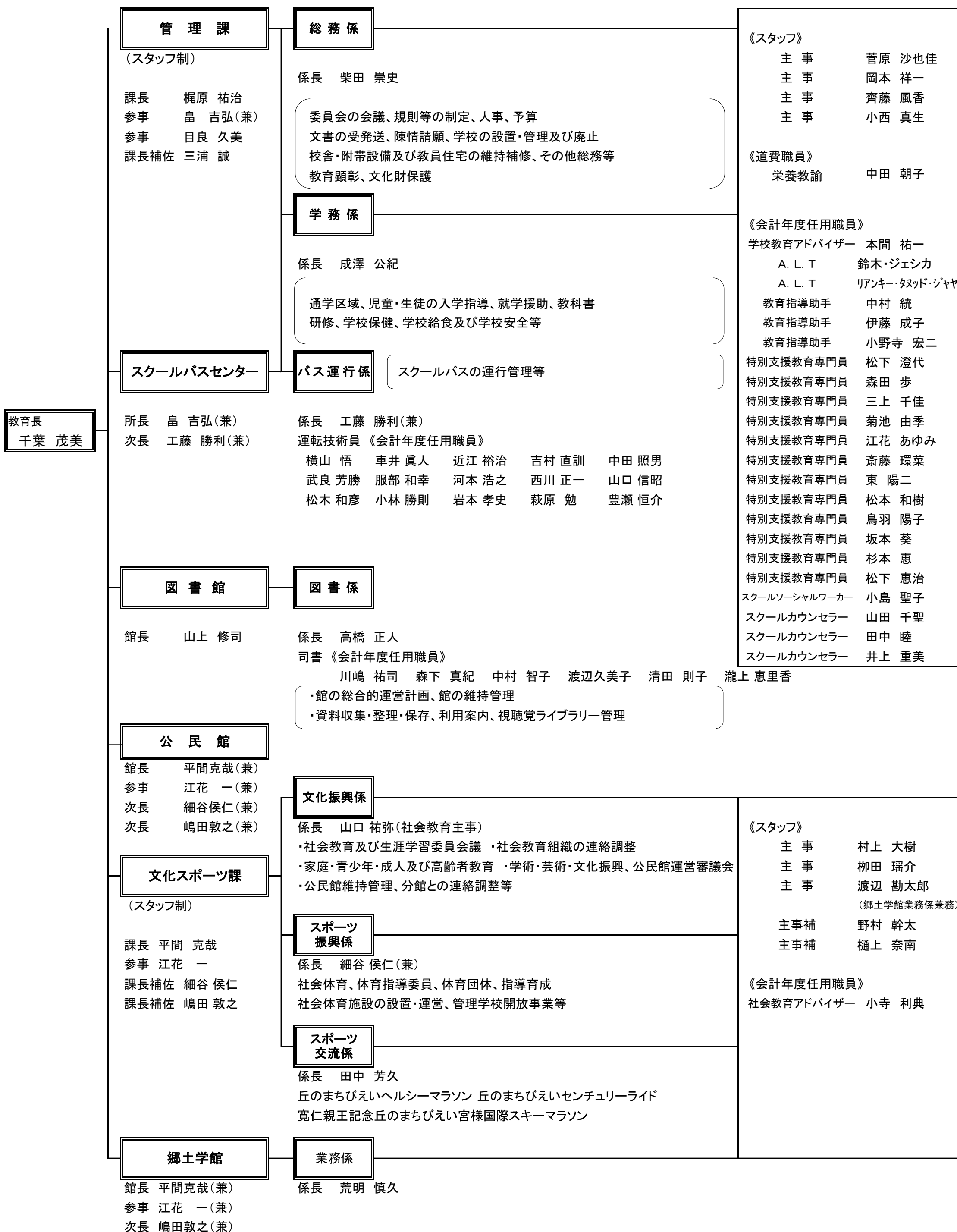


小杉 英紀 委員

(H29.10.1 就任)

教育委員会事務局の機構

(R3. 4. 1)

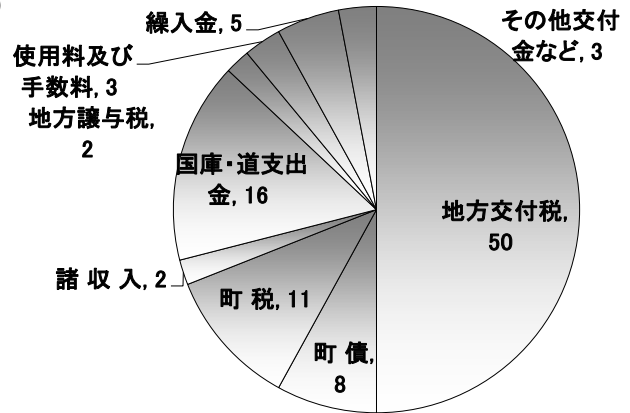


配置人数 (兼務除く)	管理課	バスセンター	図書館	公民館 郷土学館	アドバイザー 教育専門員	教育 支援助手	栄養教諭	A.L.T 外国語指 導	SSW S C	運転 技術員	図書館 司書	計
		9人	2人	2人	12人	14人	3人	1人	2人	4人	16人	6人

令和3年度 町当初予算

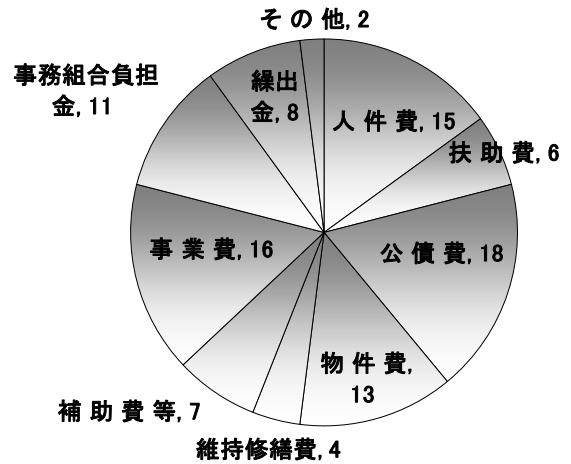
一般会計歳入予算 (単位:千円)

科 目	予 算 額	割 合
地方交付税	4,852,000	50
町 債	728,300	8
町 税	1,088,430	11
諸 収 入	217,855	2
国庫・道支出金	1,484,597	16
地方譲与税	160,144	2
使用料及び手数料	256,886	3
繰入金	444,865	5
その他交付金など	309,923	3
合 計	9,543,000	100



一般会計歳出予算 (性質別内訳) (単位:千円)

科 目	予 算 額	割 合
人件費	1,518,380	15
扶助費	608,706	6
公債費	1,738,930	18
物件費	1,199,643	13
維持修繕費	343,168	4
補助費等	651,750	7
事業費	1,484,614	16
事務組合負担金	1,054,674	11
繰出金	787,433	8
その他	155,702	2
合 計	9,543,000	100



令和3年度 教育費予算総括表

(単位:千円)

区 分	令和3年度当初	前年度当初	増 減	増減割合	備 考
教育費総額	522,183	478,046	44,137	9.2 %	
(管理課所管)	486,000	441,938	44,062	10.0 %	
教育総務費	250,797	231,429	19,368	8.4 %	
教育委員会費	2,165	2,165	0	0.0 %	
事務局費	77,998	74,583	3,415	4.6 %	
学校給食費	94,682	87,325	7,357	8.4 %	
教員住宅管理費	3,812	3,819	▲ 7	▲ 0.2 %	
通学自動車運行費	65,300	56,803	8,497	15.0 %	
学童保育費	6,840	6,734	106	1.6 %	
小学校費	126,143	142,482	▲ 16,339	▲ 11.5 %	
学校管理費	97,325	99,737	▲ 2,412	▲ 2.4 %	
教育振興費	28,818	42,745	▲ 13,927	▲ 32.6 %	
中学校費	109,060	68,027	41,033	60.3 %	
学校管理費	84,659	46,330	38,329	82.7 %	
教育振興費	24,401	21,697	2,704	12.5 %	
(公民館所管)	12,273	12,530	▲ 257	▲ 2.1 %	
社会教育費	12,273	12,530	▲ 257	▲ 2.1 %	
社会教育総務費	597	865	▲ 268	▲ 31.0 %	
公民館費	11,676	11,665	11	0.1 %	
(図書館所管)	23,910	23,578	332	1.4 %	
社会教育費	23,910	23,578	332	1.4 %	
図書館費	23,910	23,578	332	1.4 %	

令和3年度学校教育推進の重点

グローバル化や高度情報化などの技術革新が急速に進み、教育を取り巻く環境が大きく変容していく中、子どもたちが自らの感性や創造性を磨き、自ら課題を見つけ、学び、考え、判断して行動する力を育成する教育を実現することが重要です。このため、美瑛町教育振興基本計画で示す教育の目標や方向性を基に、児童生徒には、知・徳・体のバランスの取れた「生きる力」を育むよう取り組んでまいります。

また、家庭や地域の協力を得ながら、子どもたちの学びの基盤となる望ましい教育環境づくりに取り組むなど、「地域とともにある学校づくり」を一層推進してまいります。

なお、喫緊の課題である新型コロナウイルス感染症対策については、引き続き、強い危機意識を持ち、学校や社会教育施設における感染の拡大防止や適切な情報提供に努めるなど、事態に即した対応を図ってまいります。

新年度も、町の魅力や活力を創出し、郷土への愛着や誇りを持ちながら持続可能な地域を支える教育力の向上を図るとともに、町民一人一人が生き生きと学び続ける環境づくりを通して、心豊かに輝くまちづくり、人づくりに資する教育行政の充実と発展に取り組んでまいります。

【学校教育】

1. 社会でいきる力の育成

子どもたちが、予測困難な時代を主体的、創造的に生きていくためには、知識・技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力・人間性等の資質・能力を身に付けることが必要です。

児童生徒の資質・能力の育成を図るため、町内の小中学校で統一した学習規律を定め、小中一貫した指導方法の確立を図り、指導の効率化や学びの連続性の確保に努めてまいります。日常授業においては、授業の目標を示し、課題解決に向けた「見通し」や学習の「振り返り」を位置づけるなど、学習内容の確実な定着を図るよう努めてまいります。

また、学力の向上を図るため、ICT機器を積極的に活用するとともに、小学生学習ルームを引き続き実施し、学習習慣の確立につなげます。ICT機器の有効活用については、映像や画像を提示するなど、子どもたちの学びへの興味・関心を高め、分かりやすい授業を展開します。特に、昨年度整備した児童生徒一人一台の情報端末は、校内で個別学習・集団学習に活用してまいります。

また、プログラミング教育に関する教科等の横断的な指導を行い、論理的思考力を含む情報活用能力の育成に取り組んでまいります。

外国語専科指導教員と外国語指導助手を配置し、子どもたちが生きた英語に触れる機会を生み出すとともに、国際理解教育・外国語教育の推進に努めてまいります。

子どもたちが学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことができるよう、子どものキャリア発達を継続的に記録する「マイノート」の活用を始め、ゲストティーチャーによる講演や、将来の進路選択を見据えた職場体験、大学等のキャンパス見学を行うなど、夢や目標を持ち続ける意識を育むキャリア教育の充実を図ります。

支援教育では、全ての子どもに合理的な配慮がなされ、子ども一人一人の実態に即した切れ目のない教育体制を整えてまいります。そのため、教育指導助手と特別支援教育専門員を引き続き配置します。

2. 豊かな人間性と健やかな体の育成

子どもたちが、心身ともに健やかに成長していくためには、規範意識を高め、他者への思いやりや自己有用感などを育むとともに、健康の保持増進を図ることが重要です。

また、郷土の良さを見つけようとする心を持ち、郷土のために何ができるかを考えることのできる人材を育成する取り組みも必要です。

このため、子どもの発達段階に応じて美瑛の自然や歴史・文化・先人について体験的に学び、地域を愛する心や地域の人に対する思いやりの心を育成する「ふるさと学習」を進めてまいります。

いじめ問題への対応については、美瑛町いじめ防止基本方針に基づき、学校や家庭、関係機関等と連携し、未然防止、早期発見・早期対応に努めてまいります。

不登校問題への対応については、学校において、丁寧な教育相談や家庭訪問を繰り返すとともに、スクールカウンセラーや心の教室相談員を配置し、悩みを抱える児童生徒や保護者との相談体制を整えます。また、本年度からは、新たにスクールソーシャルワーカーを教育委員会に定期的に配置し、学校や保護者にとって、より身近な相談体制の拡充を図ってまいります。

子どもたちの自主的な読書活動を支援するために、学校図書館への司書の定期配置に加え、ブックトークや調べ学習のサポート、長期休業前の団体貸し出しなど、今後も読書環境の充実に努めてまいります。

子どもたちの体力向上については、全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果などを踏まえ、美瑛町教育推進協議会と連携して、体育の授業や体育的行事の改善を図る取り組みを進めるとともに、家庭と連携し運動の習慣化につながるよう、スポーツイベントへの参加促進などを行ってまいります。

学校給食においては、可能な限り地場産の食材を取り入れ、子どもたちに栄養バランスの取れた安全・安心な給食を提供し、健やかな成長を支えます。

3. 学びを支える家庭・地域との連携・協働

子どもたちが、新しい時代を生き抜いていく力を身に付けるためには、学校と家庭や地域社会が、教育の場として十分な機能を発揮するとともに、連携・協働して子どもを育てることが重要です。

各学校では、学校運営協議会による花壇整備や街頭交通指導、学習サポートなど様々な支援が行われております。これまでの成果をいかし、より一層「地域とともにある学校づくり」を目指し、効果的に取り組みを進めてまいります。

未だに、新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、児童生徒の学びを保障するため、家庭でオンライン学習ができる体制づくりを進めてまいります。

また、子どもたちが休日を有意義に過ごすことができるよう、学習要素を取り入れた「土曜学習」事業に引き続き取り組んでまいります。

保護者の経済的な負担を軽減するため、学校給食費の無償化や小学校の新1年生に対する学用品の贈呈、修学旅行費の一部助成事業などを継続してまいります。

児童生徒の登下校を支えるためスクールバスを運行するとともに、既存車両の維持補修と老朽化した車両を更新し、併せて安全運転の徹底を図ってまいります。

学校施設については、美馬牛中学校改修工事などを行い、改修と維持補修を計画的に進めてまいります。また、各学校に感染症対策で必要な設備、備品等を整備してまいります。

4. 学びをつなぐ学校づくりの実現

各学校において、子どもたちに必要な資質・能力をバランスよく育むためには、幼小、小中、中高といった校種間の円滑な接続や教職員間の連携を推進することが重要です。引き続き、中学校教員による小学校への「出前授業」を始め、小中相互の授業公開などを通して、義務教育9年間を見据えた連続性のある教育課程も視野に、これまで以上に小中の連携を深めてまいります。

児童生徒に質の高い教育を保障するためには、教職員には授業力はもとより、高い倫理観が求められています。先進地等への研修の機会を保障するとともに、北海道教育委員会を始め関係機関が実施する各種研修事業への参加を促進するほか、魅力ある学校づくりに資する本町独自の教職員研修を引き続き実施してまいります。

また、教職員の多忙化の縮減を図るとともに、校務支援システムを活用するなど、教員がゆとりを持って子どもたちに向き合う時間を確保するように努めてまいります。

子どもたちが安心して登下校できるように、通学路交通安全プログラムに基づく効果的な取り組みを推進してまいります。

【社会教育】

5. 学びをいかす地域社会

第10次社会教育中期計画の始まりとなる本年度は、第9次から引き継ぐ「きっかけ」「つながり」「やりがい」の三つの重要な柱の下に、継続的な学びの場を確保しながら、「明日を担う人づくり」と「活力のある地域づくり」を推進してまいります。

公民館事業では、多様な町民の学習ニーズや社会的・地域的課題を把握した中で、新たな生活スタイルに対応した運営方法により、児童生徒対象の「夏自然とふれあいの里」や、成人対象の「いきがづくり講座」、高齢者対象の「すずらん大学」など、数多くの事業を実施してまいります。

また、公民館分館については、引き続き公民館本館からの支援を行い、地域の活性化が促進されるよう努めてまいります。

びえい出会いふれあい祭り事業においても、運営方法等を見直し、新たな形で実施することで、多くの町民が日々の活動の成果を披露し、様々な交流が生まれるよう努めてまいります。

図書館については、あらゆる世代の町民の生涯学習活動の核となる大きな役割を担っていることから、居心地の良い図書館づくりを進めてまいります。

図書館フェスティバルや古本市の開催など、来館者の興味をひくような本の特集を定期的に行うほか、壁面等でも季節の行事に関連した展示を行うなど読書環境づくりを進めてまいります。

また、幼児期の読み聞かせや児童期の読書は、子どもの成長にとって極めて重要なことから、読み聞かせボランティアグループによるお話し会やブックスタート事業も継続してまいります。

1. 学校等一覧

(1)各学校の概況

休校

学校名	創 立		学 校 施 設 の 概 況							暖 房		警 備	
			建築年度	校舎面積 m ²	屋体面積 m ²	事業費 千円	普通教室数	特別教室数	学校敷地 m ²	中 央	個 別	機 械	委 託
美 瑛 小 学 校	M32.10.20	尋常小学校開設	S52～S53 H 5.6 改造 H27 大規模改修 H28 大規模改修 H28繰越 大規模改修 H29 大規模改修	4,809	1,084	760,240 改造 317,859 256,695 41,172 344,304 239,404	19	12	32,294	電気			○
美馬牛小学校	M43. 4. 1 T 6. 4. 1	特別教授所 尋常小学校と改称	S59 H26 改造	1,254	660	340,350 64,649	7	4	34,131		F		○
美 沢 小 学 校	M33. 4.21 M42. 4. 1	簡易教育所開設 尋常小学校と改称	S57 H27～H28 改造	1,209	679	392,300 146,858	6	3	48,974	温水			○
明 徳 小 学 校	M34. 9. 5 M45. 4. 1	私設教育所 尋常小学校と改称	S54 H 8 改造 H27 屋体補強	659	270	388,550 改造 21115 41,429	4	7	15,528	温水		○	
美瑛東小学校	S46.11. 1	統合(東瑛・千代田)	S45～S47 S62～H元 改造 H25 大規模改修	3,628	791	215,440 改造 281,327 324,954	13	8	31,478	温水			○
美 進 小 学 校	S10. 2.15 H28. 3.31	統合(下宇莫別・中宇莫別) 休校	S56	1,155	702	367,202	3	3	19,794	温水		○	
宇莫別小学校	M37. M40. 4. 6 T 6. 4. 1 H16. 3.31	私立教育所 教育所 尋常小学校と改称 休校	S58	660	405	218,400	3	3	19,905		F	○	
五 稜 小 学 校	S25. 2. 1 S26. 4 H17. 3.31	美田小五稜分教場として 独立し五稜小学校と改称 休校	S55	619	357	173,400	2	4	19,696	温水		○	
計				13,993	4,948		57	44	221,800				
美 瑛 中 学 校	S22. 5. 1 S51. 4. 1 H 3. 4. 1	開校 美瑛・美沢・置杵牛・宇莫別・美田中統合 旭中統合	S49～S51 H 3.4 改造 H26 大規模改修	5,558	1,195	755,777 改造 229,551 612,424	17	10	49,305	電気			○
美馬牛中学校	S22. 5.10 S27. 4. 1	美瑛第一中西美分校として 美馬牛中学校と改称	S56～S58 H 5 増築	1,314	771	399,840	7	5	42,783	温水			○
明 徳 中 学 校	S22. 5.15 S55. 4. 7 H29. 3.31	第二中学校として 小・中併置校として 休校	S54 H 8 改造 H27 屋体補強	1,314	493	(388,550) (21,115) (41,429)	3	6	10,424	温水		○	
計				8,186	2,459		27	21	102,512				

(2)学校別 児童・生徒数、学級数、教職員数

(特別支援:内数)

(町費職員:内数)

へき 地級	学 校 名	1 年			2 年			3 年			4 年			5 年			6 年			合 計			学 級 数	教 職 員 数						
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計		校 長 教 頭	教 員	養 護 養 護	事 務 職 事 務 生	公 務 補 サ ポ ー ト	計	
	美瑛小学校	(2)		(2)	(9)	(3)	(12)	(3)	(2)	(5)	(2)	(2)	(4)	(3)	(1)	(4)	(5)		(5)	(24)	(8)	(32)	(7)		(4)		(1)		(5)	
		14	13	27	25	22	47	22	23	45	17	21	38	27	22	49	20	28	48	125	129	254	17	2	31	2	2	3	40	
	美馬牛小学校	(3)		(3)				(2)		(2)	(4)		(4)	(1)	(1)	(2)	(2)		(2)	(12)	(1)	(13)	(4)		(1)			(1)		
		6		6	1	3	4	2	3	5	6	1	7	2	3	5	4	2	6	21	12	33	7	2	9	1	1	1	14	
準	美沢小学校	(1)		(1)	(1)		(1)	(1)		(1)			(1)	(2)	(3)				(4)	(2)	(6)	(3)								
		2	1	3	2		2	2	1	3	1		1	2	3	5	1	2	3	10	7	17	6	2	6	1	1	2	12	
2	明德小学校				(2)	(1)	(3)				(1)		(1)		(1)	(1)				(3)	(2)	(5)	(3)							
		1	1	2	3	2	5				2	1	3	1	2	3	1	2	3	8	8	16	6	2	6	1	1	1	11	
	美瑛東小学校	(2)	(2)	(4)	(4)	(1)	(5)	(1)	(3)	(4)	(1)	(3)	(4)	(3)	(6)	(9)	(6)	(2)	(8)	(17)	(17)	(34)	(8)		(4)		(1)		(5)	
		4	11	15	9	9	18	5	7	12	7	14	21	10	12	22	13	9	22	48	62	110	14	2	22	1	2	2	29	
小 学 校 計		(8)	(2)	(10)	(16)	(5)	(21)	(7)	(5)	(12)	(8)	(5)	(13)	(8)	(11)	(19)	(13)	(2)	(15)	(60)	(30)	(90)	(25)		(9)		(2)		(11)	
		27	26	53	40	36	76	31	34	65	33	37	70	42	42	84	39	43	82	212	218	430	50	10	74	6	7	9	106	
	美瑛中学校	(10)	(2)	(12)	(3)	(8)	(11)	(5)	(5)	(10)										(18)	(15)	(33)	(8)		(7)		(1)		(8)	
		34	27	61	20	42	62	32	30	62										86	99	185	14	2	31	1	3	2	39	
	美馬牛中学校		(4)	(4)					(1)	(1)											(5)	(5)	(3)		(1)				(1)	
		2	4	6	2	2	4	4	3	7										8	9	17	5	2	9	1	1	1	14	
中 学 校 計		(10)	(6)	(16)	(3)	(8)	(11)	(5)	(6)	(11)										(18)	(20)	(38)	(11)		(8)		(1)		(9)	
		36	31	67	22	44	66	36	33	69										94	108	202	19	4	36	2	4	3	53	
合 計																			(78)	(50)	(128)	(36)		(17)		(3)		(20)		
																			306	326	632	69	14	110	8	11	12	159		

※教員数には「教育指導助手、特別支援専門員及び学習指導員」を含む

〔令和3年5月1日現在〕

2. 校舎整備

小・中学校校舎等整備事業実績

(単位:千円)

年 度	H30	R元	R2
新 築 事 業	0	0	0
大規模改修事業		6,050	0
そ の 他 事 業	7,474	32,477	99,801
計	7,474	38,527	99,801

(1)平成30年度実績

- ・放送設備改修工事(美瑛東小) 2,884千円
- ・給水ポンプ更新工事(美馬牛小) 1,458千円
- ・学校遊具改修工事(美馬牛小・美沢小) 3,132千円

(2)令和元年度実績

- ・プール撤去工事(美瑛小) 14,030千円
- ・トイレ洋式化改修工事(明德小) 14,181千円
- ・学校遊具改修工事(美馬牛小・美沢小・明德小・美瑛東小) 4,266千円
- ・大規模改修実施設計業務(美馬牛中) 6,050千円

(3)令和2年度実績

- ・わんぱく広場整備工事(美瑛東小) 1,936千円
- ・エアコン設置工事(美瑛中) 3,454千円
- ・小学校遊具改修工事(美瑛小・美馬牛小) 3,553千円
- ・学校給水ポンプ更新工事(明德小) 2,772千円
- ・給食室エアコン設置工事(美馬牛小・明德小) 3,223千円
- ・小中学校給湯器設置工事 [感染症対策]
(美馬牛小・美沢小・明德小・美瑛東小・美馬牛中) 5,344千円
- ・耐震改修工事(明德小) [繰越明許] 56,067千円
- ・GIGAスクールネットワーク整備工事(全小中学校) [繰越明許] 23,452千円

(4)令和3年度計画

- ・給食室エアコン設置工事(美沢小・美馬牛中)
- ・美馬牛小学校キュービクル改修工事
- ・宇莫別小学校体育館屋根改修工事
- ・美瑛小学校周辺環境整備工事
- ・美瑛中学校環境整備工事
- ・美瑛中学校エアコン設置工事 [繰越明許]
- ・小中学校感染症対策網戸設置工事 [繰越明許]
- ・美馬牛中学校改修工事(中規模改修)

3. 学 校 警 備

教職員が教育に専念し、よりよい教育を行うことができるよう、民間委託による学校警備を実施する。(学校の管理及び教育財産の保全に努めている。)

(1) 学校警備の現況

区 分 小中別	委託警備(民間)	機 械 警 備	計
小 学 校	4 校	1 校	5 校
中 学 校	2 校	0 校	2 校
計	6 校	1 校	7 校

(2) 委託警備(民間)

侵入センサーと火災報知機が異常事態を感知すると、自動的にガードセンターに通報され、事故を最小限度に防止するとともに、事故処理の適正を図るものである。

(3) 機械警備

侵入センサーと火災報知機が異常事態を感知すると、校長宅→教頭宅に通報される。

(4) 予算額 2,324千円

4. 教具・教材の整備

学校教育において児童、生徒の教育指導を効果的に行うために教材、教具を整備し学校教育の効果を高めていかなければならない。また、教育活動に要する経費については、極力保護者の負担が発生しないよう教材、教具等の整備を進める。

(1) 小学校費

年度	教材教具費	5月1日現在児童数	1人当単価	備考
R1	5,279,799円	430人	12,278円	
R2	15,032,735円	445人	33,781円	
R3	8,263,000円	430人	19,216円	当初予算

(2) 中学校費

年度	教材教具費	5月1日現在生徒数	1人当単価	備考
R1	4,692,347円	234人	20,052円	
R2	7,205,095円	214人	33,668円	
R3	10,816,000円	202人	53,544円	当初予算

5. 情報教育の充実

情報社会の進展と新しい学習指導要領の施行に対応する情報活用能力を培う情報教育を推進させる。

(1) 教育用コンピュータ設置台数

	2in1型 windowsPC	iPad	Chromebook	指導者用 ノートPC
美瑛小学校	40台	24台	254台	10台
美馬牛小学校	18台	9台	33台	3台
美沢小学校	10台	6台	17台	3台
明德小学校	10台	12台	16台	3台
美瑛東小学校	31台	17台	110台	6台
美瑛中学校	41台	41台	185台	6台
美馬牛中学校	16台	17台	17台	3台
計	166台	126台	632台	34台

(2) 計画

本町においては、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、個々の状態に合った学びを保障し、創造性豊かで未来の情報社会で生きる力が養われるよう、美瑛町学校教育情報化推進計画を始めとした各種計画に基づき、教育現場の情報化を推進します。

- 美瑛町学校教育情報化推進計画
- 美瑛町立小中学校情報セキュリティ・ポリシー
- 学習用情報端末Chromebook運用規程

6. 国際理解教育及び英語教育の充実

国際理解教育の推進を図るため、(1)国際理解に関する教育課程の編成、(2)英語指導助手(AL T)の活用、(3)国際化の教育に関する教職員の研修の充実を図っている。

年度	英語指導助手氏名	性別	国籍	事業実績			
H 30	デヴィン ウッズ マイクル	男	アメリカ	中学校	66回	小学校	134回
	ルーシー エリザベス モウレル 杉本 恵	女 女	オーストラリア 日本	中学校	40回	小学校	221回
R 元	デヴィン ウッズ マイクル	男	アメリカ	中学校	103回	小学校	81回
	ダイヤーヘイデン 杉本 恵	男 女	アメリカ 日本			小学校	287回
R 2	デヴィン ウッズ マイクル	男	アメリカ	中学校	80回	小学校	56回
	ダイヤーヘイデン 鈴木 ジェシカ	男 女	アメリカ オーストラリア			小学校	241回
R 3	鈴木 ジェシカ リアンキー・タヌッドジャヤ	女 男	オーストラリア インドネシア	中学校	100回	小学校	360回

7. 小・中学校教育奨励事業

就学援助制度

(1)目的

経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、定められた項目について支給する。

(2)認定基準

ア) 要保護児童生徒就学援助

生活保護法に規定する要保護者(保護を必要とされる状態にある者)

イ) 準要保護児童生徒就学援助

次のいずれかに該当し、かつ、生活保護法の規定による方法により算定した前年分の収入額が同法の規定による厚生労働大臣が定める基準に基づいて算定した当該年分の最低生活費の1.2倍未満の者と生計を一にする者。

① 生活保護法に基づく保護が、停止又は廃止された者

(現在、生活保護を受けている者は該当しない。)

② 町税(町民税、固定資産税)又は国民健康保険料が非課税又は減免された者

③ 個人事業税が減免された者

④ 国民年金の掛け金が免除された者

⑤ 児童扶養手当の支給を受けている者

⑥ 生活福祉資金の貸付を受けている者

⑦ 前各号に掲げるものと同程度の経済状態にあると認められる者

(3) 援助項目

項目	対象者
学用品費、通学用品費	準要保護児童生徒
体育実技用具費	準要保護児童生徒のうち、体育や保健体育の授業で正課として、スキーを実施しており、当該用具一式を購入する者(小学校1～3年生、4～6年生、中学校1～3年生の間にそれぞれ1回支給)
校外活動費	準要保護児童生徒のうち、校外活動に参加する者
新入学児童生徒学用品費	準要保護児童生徒のうち、新入学の児童生徒
修学旅行費	要保護・準要保護児童生徒のうち、修学旅行に参加する者
クラブ活動費	要保護・準要保護の生徒のうち、クラブ活動(部活動)に所属する者
生徒会費	準要保護児童生徒で通学する学校が生徒会費を定め、保護者の負担がある者
PTA会費	準要保護児童生徒で通学する学校がPTA会費を定め、保護者の負担がある者
卒業アルバム代等	要保護・準要保護の児童生徒(小学校6年生、中学校3年生)のうち卒業アルバムを購入する者
オンライン学習通信費	要保護・準要保護の児童生徒のうち、自宅等においてオンライン学習を受けた者

特別支援教育就学奨励事業

(1) 目的

特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、負担能力の程度に応じ、就学のため必要な経費のうち定められた項目のうち、その全部又は一部を支弁する。

(2) 認定基準

特別支援学級に在籍する児童生徒で、特別支援学校への就学奨励に関する法律施行令及び算定要領に基づいた支弁区分の決定により、支給基準に該当となる者。

(3) 援助項目

項目	対象者
学用品費、通学用品費	認定児童生徒
体育実技用具費	体育や保健体育の授業で正課として、スキーを実施している学校でのうち、当該用具一式を購入する児童生徒(小学校1～3年生、4～6年生、中学校1～3年生の間にそれぞれ1回)
校外活動費	校外活動への参加者
新入学児童生徒学用品費	新入学児童生徒
修学旅行費	修学旅行参加者
通学に要する交通費(通学費)	ことばの教室・そだちの教室・すだちの教室に通級する児童で、市街地小中学校以外から通級する児童
オンライン学習通信費	自宅等においてオンライン学習を受けた者

8. 教職員の研修

教職員一人一人の資質を向上させるための研修活動の充実を図るとともに、児童生徒の成長を導く校内研修や専門性向上の計画的な個人研修授業を中核とした系統的持続的な実践研究、実践研究の累積と研究交流の推進、道内外研修の実施等を行い研修体制の一層の充実を図る。

美瑛町教育研究会

(1) 研究推進の基本方針

「生きる力」の基盤となる、確かな学力、豊かな人間性、健康でたくましい体力を持つ調和のとれた児童生徒を育成するために、創意と活力に満ちた教育活動の推進に努める。

(2) 研究推進の主題

「ふるさと美瑛に誇りをもち、心豊かに支え合う児童生徒を育成するための実践的研究」
～自らの夢や目標に向かって、互いに高め合い挑戦する児童生徒の育成～

(3) 研究推進の重点

① 研究活動

- ・班活動の累積・発展を図るため、班長の任期を含めてできるだけ、2年サイクルでの研究を推進する。
- ・班研究の成果及び課題を次年度に生かせるよう、班ごとにファイルを作成する。
- ・会員相互及び他の教育団体との研究活動の交流に努める。
- ・研究の総まとめとして「研究紀要」を発刊し、活動の成果や課題を累積し、次年度の研究へとつなげる。

② 児童生徒に関わる行事

- ・児童生徒に関わる行事を計画に従って遂行する。
- ・実施に当たっては、令和元年度の反省を生かし、会員の意見を十分に反映させながら行う。
- ・スムーズな運営を行うため、必要に応じて運営委員会を設ける。
- ・教育委員会との連携を十分に図りながら、各種行事を推進する。

9. 学 校 保 健

学校保健衛生の向上と健康安全教育の推進のため、児童・生徒及び教職員の健康管理を重視し、定期健康診断及び疾病予防のための各種検査を実施している。一方、学校の実態に即した保健指導を行い、児童・生徒の健康保持、増進に努めると共に安全対策に力を注ぎ、学校内での災害防止や通学途中での交通事故の防止に万全を期している。

(1) 保健管理

ア) 実施業務

検診の種類	対 象 者	備 考
内 科	全 員	年1回学校医が行う
歯 科	全 員	年1回学校歯科医が行う
尿	全 員	年1回美瑛町立病院に検査を委託
心 電 図	小学1年及び中学1年	年1回旭川医師会健康管理診療所に委託
結 核	全 員	年1回問診票により内科検診の際学校医が行う

イ) 学校医等

委 嘱 医 療 機 関 名	業 務 名	備 考
美瑛町立病院	村住 和彦	学 校 医
	北 健 吾	〃
	林 秀 美	〃
美瑛循環器・内科クリニック	藤原 正文	〃
丘のまち歯科クリニック	三浦 一仁	学校歯科医
しらとり歯科クリニック	白取 秀樹	〃
Youすまいる歯科	小林 利夫	〃
	小林 祐二	〃
山崎歯科クリニック	山崎 清仁	〃
美瑛町立病院	島津 洋之	学校薬剤師

10. 学 校 給 食

学校給食は、全学校が単独給食実施校で完全給食となっており、物資の購入については各学校で行い、献立は教育委員会の学校栄養教諭が作成し各学校に配布している。

(1) 米飯給食の実施状況

週3回以上の米飯給食をすべての学校で行っている。

(2) バイキング給食(カフェテリア方式)実施状況

文部科学省で推進するバイキング給食を、平成元年度より継続的に年1~2回程度実施しているが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響から行事食などを実施出来ていない。

(3) 学校給食における新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症の拡大防止及び学校給食を起因とする事故防止の徹底に万全を期すため、各校において次のような対策を進めている。

- ・子ども同士の机を向かい合わせず、食事中は黙食とする。
- ・地域の感染状況によっては、盛り付け及び配膳は児童生徒に行わせず教職員が行う。

(4) 給食人員

小 学 校			中 学 校			合 計		
学校数	児童数	給食人員	学校数	生徒数	給食人員	学校数 (校)	児童生徒数 (人)	給食人員 (人)
5	430	536	2	202	255	7	632	791

令和3年5月1日現在

(5) 給食費(参考)

学校名	年額(円)	1食当たり (円銭)	内 訳		給食実 施回数	米飯給食 実施回数
			主食+副食	牛 乳		
美瑛小	42,040	220	171.02	48.98	182	週3回
美瑛中	47,750	250	201.02	48.98	181	週3回

令和2年度実績

11. スクールバス

昭和 24 年より国鉄バスが運行されていたが、国鉄合理化のため運行が廃止された。

現在の交通機関は、市街地を中心に放射状となって、校外へ向け 10 路線のスクールバスを運行しているが、児童生徒の通学の足の確保はもとより校外学習の活用並びに一般住民混乗方式で利用されている。

(1) 路線別運行

運行年月日	運 行 路 線	運 行 回 数	
S60. 4. 1	置杵牛線・宇莫別線・水沢線・美田五稜線	3 往復	日祭日 運 休
S61. 4. 1	美馬牛線・俵真布線・二股線	3 往復	
H3. 4. 1	旭線	3 往復	
H23. 4. 6	夕張 福富憩線・ルベ 新栄線	3 往復	

(2) バス車種

種 別	台数	会 社 名	運 行 路 線	年式	乗車定員
小型バス	1	日野自動車	美馬牛	24	29 人
小型バス	1	三菱ふそうトラックバス	俵真布	31	29 人
小型バス	1	日野自動車	ルベ新栄	14	29 人
中型バス	1	いすゞ自動車	二股	22	46 人
中型バス	1	いすゞ自動車	宇莫別	25	45 人
小型バス	1	三菱ふそうトラックバス	置杵牛	30	29 人
小型バス	1	日野自動車	水沢	27	29 人
小型バス	1	トヨタ自動車	美田・五稜	29	29 人
中型バス	1	いすゞ自動車	旭	23	46 人
小型バス	1	日野自動車	夕張福富憩	23	26 人
中型バス	1	いすゞ自動車	予備車	19	41 人
中型バス	1	いすゞ自動車	予備車	17	41 人

(3) 乗車人数

路 線 名	H28	H29	H30	R元	R2
美田・五稜線	5,041	4,440	4,362	4,059	4,817
宇 莫 別 線	4,155	4,798	5,215	4,714	6,165
水 沢 線	3,761	3,416	3,224	2,683	2,643
二 股 線	7,112	6,310	6,531	5,795	6,268
美 馬 牛 線	4,235	3,722	3,652	2,948	2,408
置 杵 牛 線	3,997	3,825	3,177	2,245	2,888
俵 真 布 線	6,472	6,508	7,554	7,453	8,188
旭 線	6,153	5,763	5,403	5,025	4,612
夕張福富憩線	2,291	2,455	3,125	2,827	2,163
ルベ新栄線	4,148	5,140	3,349	2,969	3,144
合 計	47,365	46,377	45,592	40,718	43,296

12. 保育の現況

年 度	学齢前児童数	認可保育所	へき地保育所	幼稚園
H29	378 人	138 人	57 人	77 人
H30	354 人	152 人	43 人	72 人
R元	333 人	144 人	29 人	68 人
R2	292 人	112 人	23 人	72 人
R3	276 人	104 人	21 人	76 人

(令和3年5月1日現在)

13. 学童保育

美瑛町学童保育事業

- (1) 開設期日 平成4年8月18日
 (2) 開設場所 美瑛町丸山2丁目8番15号 美瑛町立美瑛東小学校内
 (3) 概 要

ア) 目的

遊びを通じて自主性・創造性を養うとともに家庭や社会生活に必要な規律・礼儀・健康・安全確保などが養われるよう指導を行うことを目的とする。

イ) 対象者

美瑛東小学校の学童で、放課後帰宅しても保護者等が就労などにより家庭を留守にするため、保護指導が受けられないことを常態としている学童。

ウ) 学年別在籍者数(令和3年4月現在)

学 年		1	2	3	4	5	6	合 計
人 数	男	1	5	4	4	3	2	19
	女	11	8	5	5	4	5	38
	計	12	13	9	9	7	7	57

エ) 開設日

月～金曜日: 下校時～午後6時00分

土曜日・春休み・夏休み・冬休み期間: 午前8時00分～午後6時00分

※平成28年度より開設時間を前後30分延長

令和2年度開設日計 261日(月平均 22日)

” 延利用者数 3,252人(1日平均 12人)

オ) 職 員

主事1名(校長)、主事補1名(教頭)、指導員4名(女性)、代替指導員1名 計7名

美瑛町立小・中学校・道立高等学校 校長・教頭名簿

【小学校】

(R3.4.1)

学校名	校長名	教頭名	電話番号	FAX番号	学校所在地
美 瑛	ほりうち りゆうこう 堀内 隆功	いしざか つよし 石坂 剛	92-2145	92-2146	西町2丁目1番1号
美馬牛	きしだ けんじ 岸田 賢治	たまき ひでき 玉置 英樹	95-2113	68-6677	美馬牛南2丁目2番58号
美 沢	おおがき こうじ 大垣 幸治	かんの ふみひこ 菅野 史彦	92-4960	92-9080	字美沢中央
明 徳	おおすみ まさゆき 大角 勝之	ほんま しゅういち 本間 修一	96-2117	96-2848	字朗根内町内
美瑛東	くらはし あきひこ 倉橋 昭彦	みやもと たかひろ 宮本 貴弘	92-1205	92-1206	丸山2丁目8番15号

【中学校】

学校名	校長名	教頭名	電話番号	FAX番号	学校所在地
美 瑛	すずき かおる 鈴木 薫	たき しげゆき 瀧 繁之	92-2175	92-2176	字美瑛原野4線
美馬牛	かなやま たつや 金山 達也	わたや じゅんいち 綿谷 純一	95-2129	68-6006	美馬牛北3丁目7番1号

【高等学校】

学校名	校長名	教頭名	電話番号	FAX番号	学校所在地
美 瑛	ますだ しげき 升田 重樹	かなうち たもつ 叶内 保	92-1054	92-1732	旭町1丁目9番2号

(敬称略)

美瑛町PTA連合会役員

役 職	氏 名	区 分	学 校 名	備 考
会 長	田之岡 輝和	P	美 瑛 中 学 校	単P会長
副 会 長	外山 駿介	P	美馬牛小学校	単P会長
	村上 基樹	P	美馬牛中学校	単P会長
監 事	小口 元範	P	明 徳 小 学 校	単P会長
	宮本 貴弘	T	美瑛東小学校	前事務局
理 事	藤原 要	P	美 沢 小 学 校	単P会長
	山本 和彦	P	美瑛東小学校	単P会長
	佐藤 邦彦	P	美 瑛 小 学 校	単P会長
	三木 信吾	P	美瑛高等学校	単P会長

事 務 局	美 瑛 中 学 校
事 務 局 長	瀧 繁之
事 務 局 次 長	内山 佳苗
会 計	坂本 典之

美瑛町文化財審議会委員

(任期 R3. 4. 1~R5. 3. 31)

氏 名	備 考
谷 口 健 三	
西 野 ヒ デ	
大 滝 憲 孝	
鈴 木 誠 哲	

美瑛町教育表彰審議会委員

(任期 R2. 4. 1~R4. 3. 31)

所 属	氏 名	備 考
校 長 会 代 表	吉中 博道	美馬牛小学校
文 化 団 体 代 表	高橋 良彦	文化連盟
体 育 団 体 代 表	安田 伸幸	スポーツ協会
少 年 団 体 代 表	佐藤 文彦	少年団育成連絡協議会
婦 人 団 体 代 表	嵯城 幸子	婦人団体連絡協議会
学 識 経 験 者	吉田 昌幸	国立大雪青少年交流の家次長
学 識 経 験 者	田之岡 輝和	P T A 連 合 会

(敬称略)

図書館運営

図書館は、あらゆる世代の町民の生涯学習活動を支援するための大きな役割を担っており、町民ニーズに応える資料と情報の収集、整理、保管を進め、北海道立図書館等関係機関と連携しながら、読書環境を充実させるよう進めてまいります。

また、図書館利用者の皆さまが必要とする情報を効率よく入手できるように、図書館職員が援助するサービスである「レファレンス」の普及・活用促進と職員の資質向上を図りながら、様々な分野の問題解決への糸口をサポートしていきたいと考えております。

図書館の利用促進事業として、新型コロナウイルス感染症対策に努めながら、密を作らない形での図書館フェスティバル・季節ごとの各種イベントの開催、町民の作品等のギャラリー展示や来館者の興味をひくような図書の企画展示、長期休業中には子どもたちの学習の場として、会議室を解放するなどの取り組みを進めます。

また、読書への関心をさらに深めていただくため、読書通帳を一冊終了するごとに本を贈呈するなどの取り組みを進めるとともに、毎水曜日の閉館時間を1時間遅らせ、仕事帰りの方が利用しやすい環境とするなど、利用者へのサービス向上に努めながら、町民誰もが訪れたい魅力ある図書館づくりに努めます。

子どもの読書環境の充実につきましては、「子どもの読書活動推進計画」を基本として、読み聞かせボランティアグループの協力によるお話し会や赤ちゃん親子に読み聞かせの大切さを伝えるブックスタート事業を継続します。子どもたちにとって身近な場所である学校や児童館への団体貸出を継続して行うとともに、学校と町の図書館の連携により学校図書室の機能の充実を図ると共に、図書館司書の資格を持つ職員が定期的に学校訪問し、引き続き読書環境の整備と朝読や調べ学習などの読書活動への支援を進めます。

- (1) 所在地 美瑛町幸町1丁目1番10号
- (2) 休館日 月曜日、祝日、図書整理日、年末年始
- (3) 利用時間 10:00～18:00（毎水曜日のみ19:00）
- (4) 沿革 大正 5年 創立図書館 美瑛村農会内に開設 蔵書 200冊
戦中戦後 青年学級から美瑛中学校さらに公民館（西町1）に移転
昭和33年 巡回文庫開始 分館単位
34年 公民館図書部となる 1,687冊
38年 公民館図書室（本町3）となる
49年 移動図書館「にちりん号」開始
52年 公民館が町民センターに移転、図書室が残る
54年 町開基80周年記念事業として大改修、1階に公民館附属
図書館開館 職員は公民館と兼任
63年 職員が専任となる
平成 2年 図書館条例制定し、美瑛町図書館となる
11年 移動図書館年度末をもって廃止
24年 現在地へ新築 6月オープン
26年 読書通帳機導入
令和 2年 図書消毒機導入

1. 蔵書数及び貸出数 (R2実績)

	年間受入冊数 (寄贈含む※)		蔵書合計			貸出冊数			
	内購入	内児童書	児童書	一般書	合計	児童書	一般書	合計	
総記	83	74	24	191	984	1,175	377	574	951
宗教・心理学	90	88	14	266	1,344	1,610	480	1,323	1,803
歴史・地理	156	144	47	860	3,162	4,022	1,445	1,627	3,072
社会・教育	238	203	49	637	3,484	4,121	540	1,667	2,207
理科・医療	229	202	76	1,506	1,927	3,433	2,591	1,912	4,503
工学・家政学	269	253	22	628	3,677	4,305	1,218	6,495	7,713
産業	137	102	34	417	1,691	2,108	425	1,295	1,720
芸術・スポーツ	212	187	41	843	3,160	4,003	1,724	2,090	3,814
言語	20	13	7	232	431	663	266	236	502
文学	1,211	1,101	283	7,179	21,538	28,717	7,424	17,972	25,396
絵本・紙芝居	358	329	358	9,235	0	9,235	13,508	0	13,508
雑誌	820	816	0	0	1,745	1,745	0	4,088	4,088
視聴覚	50	19	0	0	829	829	0	3,111	3,111
漫画	319	35	319	3,238	0	3,238	12,565	0	12,565
郷土資料等	183	21	0	0	3,545	3,545	0	275	275
合計	4,375	3,587	1,274	25,232	47,517	72,749	42,563	42,665	85,228

※寄贈図書の内訳 (雑誌等除く) ~784冊 (児童書355冊、一般書429冊)

受入雑誌種数 50種 受入新聞種数 6種

相互貸借 (他館協力) 貸し出し 183冊、借り受け 429冊

2. 利用状況 (開館日数・・・262日)

区分	児童	一般	団体	計	備考
登録者数 (人)	714	5,884	59	6,657	
延利用者数 (人)	4,860	12,682	387	17,929	1日平均利用者数 68.4人
貸出冊数 (冊)	27,568	51,222	6,438	85,228	1日平均貸出冊数 325.3冊
A Vコーナー利用者				338	
P Cコーナー利用者				846	

・新刊割合 (購入÷蔵書冊数) 4.9%

・蔵書回転率 (貸出÷蔵書) 117.2%

3. 図書館事業

- ・ 図書資料貸出
- ・ レファレンス
- ・ ブックスタート事業
- ・ 図書館フェスティバル
- ・ 読書通帳事業
- ・ おはなし会
- ・ 子どもの読書活動推進事業
- ・ 学校支援事業
- ・ 子どもの読書活動応援事業

4. 図書館協議会

(任期：R3.4.1～R5.3.31)

役 職	区 分	氏 名	備 考
会 長	学識経験者	戸 島 昭	
副会長	図書館ボランティア	小 北 千津子	おはなし会「あいあい」
委 員	学校関係	倉 橋 昭 彦	校長会
委 員	文化団体	飯 田 博 志	文化連盟
委 員	一般公募	鈴 木 眞 美	
委 員	一般公募	荒 明 千 春	

(敬称略)

令和3年度社会教育推進方針

地域社会や教育を取り巻く環境は大きく変化し、少子高齢化や人口減少、急速な情報化や国際化、持続可能な社会の実現など、多くの課題が存在しています。このような情勢の中、教育の基本である「ひとづくり」にとどまることなく、「地域の担い手づくり」や「つながりづくり」へと発展していくような継続的な学習の体制づくりが求められております。

そのためにも、「町民憲章」の実践に努め、第10次社会教育中期計画（令和3年度から令和7年度）に掲げる、「きっかけ」「つながり」「やりがい」の三つの柱が、効果的かつ積極的に実践されるように努めます。

社会教育推進目標の「何かをしたいと考え始めるきっかけ、何かをしたいときに始められるきっかけ、二つのきっかけを提供する」、「他者への思いやりやお互いを理解し合う豊かな心をつながりの中で育めるよう、さまざまな枠組みで交流の場を提供する」、「学習やスポーツなどに取り組む人が、やりがいを感じながら活動できるよう発表の場の提供や施設機能の整備と充実を図る」の三つの重要な柱を推進し、「はつらつとした学習活動の促進」、「家庭の教育力の向上への支援」、「地域子どもたちを育てる環境づくり」、「文化・スポーツ活動の推進」の視点から、町民の方々のニーズに応える事業に取り組むとともに、情報収集・提供に努めます。

また、全国的に新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、人との接触を減らしていくなど新たな生活様式に配慮し、あらゆる事業において、感染拡大防止対策をしっかりと行い、アフターコロナを見据えた事業を進めてまいります。

1 はつらつとした学習活動の促進

学習活動の推進については、一人一人のニーズや、住民課題に対応した事業の実施はもちろん、社会問題や地域課題に対応する事業展開も必要であり、幅広いプログラムの開発・提供を図る必要があります。多くの学習課題に対応するために、社会教育部門だけで実施するのではなく、さまざまな関係機関との連携による、事業実施や情報提供に努めます。

公民館事業としては、高齢者のはつらつとした人生の確立と社会参加を目的とする「すずらん大学」、成人対象の「大人カルチャースクール」や「いきがいつくり講座」等を継続して実施し、新たな趣味の発見や仲間づくりの場の提供に努めます。

また、児童生徒対象の事業では、自然体験や創作体験などのプログラムを実施し、集団活動をとおして主体性や自主性の育成に努めるほか、関係団体などと連携を図りながら事業の実施や情報提供に努めます。

さらには、芸術・文化活動の推進を図るため、町民センターの施設・設備の積極的な活用と各種団体やサークルの活動を支援し、より利用しやすい施設運営に取り組めます。

丘のまち郷土学館においては、美瑛学推進協議会との運営のもと「郷土の歴史についての学び」「自然についての学び」「未知なる宇宙についての学び」を美瑛学の柱とし、ボランティアの協力を得ながら既存の収蔵資料を活用したプログラムを実施するなど、さまざまなプログラムを企画、実践し、美瑛学の推進に引き続き取り組みます。

十勝岳ジオパーク活動については、十勝岳ジオパーク推進協議会が主体となり、地域資源を保全・活用しながら地域の魅力を高める活動に取り組みます。

また、「国立大雪青少年交流の家」との連携強化を図りながら、町民ニーズに対応した子どもから高齢者まで幅広い分野での生涯学習プログラムの実践に努めます。

2 家庭の教育力の向上への支援

家庭教育は、子どもたちの健やかな育ちの基盤であり、すべての教育の出発点です。しかし、近年は地域とのつながりの希薄化や、親が身近な人から子育てについて学んだり、助け合う機会の減少など、子育てや家庭教育を支える社会環境が大きく変化しています。

このため、悩みなどを抱える親の子育て相談・情報提供など、きめ細かな家庭教育支援の充実が求められています。こうしたことから、今後も家庭の教育力の向上への支援に向け、行政間連携を図りながら、子どもの発達段階に応じた課題を踏まえた親と子のコミュニケーションをさらに深める食育講座の実施や、サークル等への支援などを実施します。

3 子どもたちを育てる環境づくりと分館活動

社会環境の変化を背景に「地域教育力の低下」が指摘され、地域社会全体で子どもを育てる意識を持つことが強く求められており、地域教育力の向上は重要な課題です。

丘のまち郷土学館においては、子どもたちを対象としたジュニア美瑛学事業として、町の歴史、産業、自然などについて地域で活躍する大人から直接学ぶ機会を設け、郷土愛を育てるプログラムを実施します。

また、地域の子どもたちの安全を確保するため「子ども110番の家」設置の取り組みの拡大を継続して進めるとともに、各種団体の組織化や連携強化を目指した活動支援に努め、地域住民自らが、まちづくりに取り組むことのできる環境づくりを努めます。

地域教育力の向上については、公民館分館の果たす役割は大きなものがありますが、近年、学校統合により学校を拠点としない分館が大半となっています。こうした中、分館がその地域に根ざした活動を推進できるよう、さまざまな手法を用いて活動を支援するとともに、地域の教育力向上のための環境づくりに努めます。

4 文化・スポーツ活動の推進

生活環境の変化や余暇時間の増加に伴い、人々は感動や生きる喜び、心の豊かさや活力と潤いのある生活を築くための趣味や教養の向上、創作活動等の文化活動への関心が高まって

います。

このような状況を踏まえ、文化活動推進のため、町民センター多目的ホール「美丘」の利用促進を図るとともに、芸術文化推進事業等を実施し、町民が広く文化・芸術に親しむことができる機会を提供します。

また、文化連盟・各種サークル等に対しては、地域に根ざした文化活動の推進を図る観点から、一層の活性化に向け積極的に支援します。

健康づくりや体力向上については、町民のスポーツ活動への意欲や興味関心が高まっており、これらの活動が地域づくりにも大きな役割を果たしていることから、スポーツ振興は重要となっています。

町民プールは、民間のノウハウを生かし、より町民にとって利用しやすい快適なサービスを提供することができるよう指定管理者制度を導入し、スポーツセンターとともに町民の健康づくりの拠点として活用されることが期待されます。今後も、幼児から高齢者まで幅広い年代の人が利用できるよう水泳教室や水中運動教室を開催するなど、身近にあるプールを積極的に使用し、健康や体力づくりに取り組むことができるような環境づくりを行います。

また、スポーツセンター及び各種社会体育施設の利用促進については、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に留意し、個人の利用促進と併せて各種スポーツ教室や講座を開催するとともに保健センターの「びえい健幸♡嬉しい宣言事業」と連携しながら健康と運動の両面から取り組むことにより、町民がスポーツ活動に親しみながら健康づくりができるきっかけづくりを行います。

**美瑛町社会教育委員兼公民館運営審議会
委員兼生涯学習推進委員**

(任期 R2. 4. 1~R4. 3. 31)

選出区分	氏名	備考
小学校	大垣幸治	
中学校	金山達也	
高等学校	叶内保	
少年団体	佐藤文彦	
青年団体	酒本新一	
婦人団体	嵯城幸子	
文化団体	高橋良彦	
体育団体	三野雅司	
学識経験者	佐藤憲明	
学識経験者	高橋徹	

美瑛町スポーツ推進委員

(任期 R2. 4. 1~R4. 3. 31)

氏名	備考
阿部健二	
向雅明	
江花恵	
佐藤素明	
小嶋仁人	
堀内加代子	
叶内保	
柴田征宗	
植村靖志	
小野寺晃伸	

美瑛町スポーツ教室運営委員

(任期 R2. 4. 1~R4. 3. 31)

選出区分	氏名	備考
スポーツ推進委員	阿部健二	
〃	向雅明	
〃	江花恵	
〃	佐藤素明	
〃	小嶋仁人	
〃	堀内加代子	
〃	叶内保	
〃	柴田征宗	
〃	植村靖志	
〃	小野寺晃伸	
旭地区推進委員	澤田拓也	
北瑛地区推進委員	只野達郎	
美田地区推進委員	杉山直人	
五稜地区推進委員	辻大輔	
西美地区推進委員	佐藤文彦	
美馬牛地区推進委員	平山智視	
美沢地区推進委員	北村敬太	
明德地区推進委員	平松勇人	
俵真布地区推進委員	平川正昭	
宇莫別地区推進委員	松添信次	

美瑛町公民館 分館長・分館主事

分館名	分館長氏名	分館主事氏名	分館所在地	備考
旭	白木 祐二	澤田 拓也	字旭北星	
北瑛	垣見 昌志	浦島 規生	字北瑛第2	
美田	山岸 敬貴	水口 征人	字美田第2	
五稜	早坂 清彦	長谷川 宏	字五稜第5	
二股	小西 良廣	鎌上 加代子	字二股富美	
西美	横山 茂弘	栗原 克哲	字瑠辺薬第2	
美馬牛	岸田 賢治	玉置 英樹	美馬牛南2丁目2番58号 美馬牛小学校内	
美沢	大垣 幸治	篠原 純也	美沢中央 美沢小学校内	
美進	山崎 甲太郎	浜田 猛詞	字下字莫別朝日	
宇莫別	吉井 鉄也	内田 一之	字中字莫別第2	
明德	大角 勝之	本間 修一	字朗根内町内 明德小中学校内	
俵真布	友田 秀俊	及川 勝	字俵真布中央	

美瑛町郷土学館運営協議会委員

(任期 R2. 4. 1~R4. 3. 31)

区分	氏名	備考
学識経験者	菅野 勝見	美瑛町郷土史料保存会推薦
学識経験者	山本 靖昭	美瑛町郷土史料保存会推薦
学識経験者	頓所 廣文	美瑛町郷土史料保存会推薦
公募	片山 明	
公募	春澤 秀之	
公募	内藤 美佐雄	

美瑛町青年会議役員

役職名	氏名	所属団体
会長	瀧田 竜士	商工青年部
副会長	神成 貴洋	J A 青年部
会計	森谷 拓磨	B B S
監事	佐々木 優	酪青研
	高橋 翼	美青協

美瑛町婦人団体連絡協議会役員

役職名	氏名	所属
会長	嵯城 幸子	婦人親交会
副会長	西森 郁子	婦人親交会
	有富 幸子	J A 女性部
会計	帯刀 ルミ	商工女性部
書記	村上 順子	婦人親交会
	内田 朋子	ネットワークすずらん
監事	蛭原 留美子	婦人親交会
	宇野 佳子	婦人親交会

美瑛町少年団育成連絡協議会役員

役職名	氏名	育成会名
会長	佐藤 文彦	美馬牛
副会長	石原 啓吾	美沢
会計	田原 麻美	東瑛
監事	菅野 幸子	美馬牛
監事	照本 慶子	美沢

美瑛町スポーツ協会役員

役職名	氏 名	備 考
会 長	齊 藤 幸 一	美瑛スキー連盟
副 会 長	三 野 雅 司	美瑛町バレーボール協会
	安 田 伸 幸	美瑛軟式野球連盟
理 事 長		
副理事長		
会 計	安 藤 拓 也	美瑛軟式野球連盟
監 事	和 氣 右 典	美瑛柔道連盟
	柴 田 崇 史	美瑛町バドミントン協会
理 事	梅 田 一 輝	美瑛町バドミントン協会
	平 間 克 哉	美瑛町バレーボール協会
	佐 藤 衡 一	美瑛山岳会
	桑 谷 覚	美瑛相撲同志会
	安 藤 拓 也	美瑛軟式野球連盟
	寒 藤 和 也	美瑛剣道連盟
	佐 藤 誉 修	美瑛バスケットボール協会
	増 山 和 則	美瑛町弓道連盟
	和 氣 右 典	美瑛柔道連盟
	米 田 浩 幸	美瑛スキー連盟
	大 沼 浩	美瑛ゲートボール連合
	竹 本 利 恵	学識経験者

社会教育・社会体育・学校開放施設一覧

施設名	住 所	面 積	施 設	内 容	用
社会教育					
町民センター	美瑛町寿町2丁目3-13	1,774 ㎡	事務所1 会議室等10 ホール1 調理室1		
地域人材育成研修交流センター	” 字旭北星	1,441 ㎡	宿泊室17(45床) 研修室2 事務室1 多目的室1 食堂1 浴室男女各1 体育館		
郷土学館	” 栄町4丁目1-1	533 ㎡	事務室1 展示室3 学習体験室1 自主学習コーナー 天文コーナー 観察室		
図書館	” 幸町1丁目1-10	1,098 ㎡	図 書 70,214冊		
社					
会					
体					
育					
学					
校					
教					
育					
丸山陸上競技場	美瑛町丸山1丁目	20,571 ㎡	1周 400m 6コース		
相撲場	” ”	900 ㎡	屋根付		
町民プール	” 丸山2丁目1-1	1,285 ㎡	25m × 6コース(うち3コースは可動床) 幼児用(水深50cm) 乳幼児プール(水深10cm)		
弓道場	” 丸山1丁目1-8	1,004 ㎡	10人立		
丸山橋パークゴルフ場	” 字水上	11,918 ㎡	18ホール(パー66) L=959m		
新区画パークゴルフ場	” 字新区画	36,000 ㎡	18ホール(パー66) L=913m		
みどり橋パークゴルフ場	” みどり	15,647 ㎡	18ホール(パー66) L=1,000m		
丸山球場	” 丸山2丁目	12,500 ㎡	ダッグアウト 外野フェンス(両翼91m、中堅112m)		
町民スキー場	” 字大村村山	80,300 ㎡	ロープトウ(1基135m) 夜間照明		
美瑛町滑空場	” 字美沢川向	95,000 ㎡	格納庫1棟		
美瑛町白金クレイ射撃場	” 字美沢美生	166,000 ㎡	トラップ射場 スキート射場 事務所兼研修施設1棟		
ふれあい運動広場	” 字美瑛原野3線	23,279 ㎡	硬式テニスコート6面 ゲートボールコート8面 多目的コート1面		
美瑛町スポーツセンター	” 丸山1丁目1-9	3,088 ㎡	アリーナ(1,484㎡)バスケットボール2面 バレーボール2面 バドミントン8面 武道館(421㎡)226畳		
美瑛小学校体育館	美瑛町西町2丁目1-1	1,085 ㎡	バスケットボール・バレーボール2面 バドミントン4面		
美馬牛小学校体育館	” 美馬牛南2丁目2-58	660 ㎡	バスケットボール・バレーボール1面 バドミントン2面		
美沢小学校体育館	” 字美沢中央	679 ㎡	バスケットボール・バレーボール1面 バドミントン3面		
明徳小学校体育館	” 字朗根内町内	763 ㎡	バスケットボール1面 バレーボール2面 バドミントン3面		
美瑛東小学校体育館	” 丸山2丁目8-15	805 ㎡	バスケットボール・バレーボール1面 バドミントン3面		
宇莫別小学校体育館	” 字中宇莫別第2	405 ㎡	バレーボール1面 バドミントン2面		
五稜小学校体育館	” 字五稜第5	357 ㎡	バレーボール1面 バドミントン2面		
美瑛中学校体育館	” 字美瑛原野4線	1,201 ㎡	バスケットボール・バレーボール2面 バドミントン6面		
美馬牛中学校体育館	” 美馬牛北3丁目7-1	771 ㎡	バスケットボール1面 バレーボール2面 バドミントン3面		